



「不屈」No579 付録  
埼玉版 (No407)

治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟  
埼玉県本部

〒330-0063

さいたま市浦和区高砂

2-3-10 黒澤ビル3B

電話 048-824-0094

振替 00110-7-83245

県同盟創立50周年に向け、新たな決意で前進を！  
会長に加藤ユリ氏選出し新体制スタート 第57回県本部総会



国賠同盟埼玉県本部第57回総会が、8月27日(土)午後2時から、さいたま共済会館で開催されました。

開会挨拶を小池莊市副会長が行い、総会の意義と目的を述べた後、この1年間で逝去された会員を偲び黙祷を行いました。そして、議長に加藤ユリ、森田君子両副会長を選出し、議事に入りました。

最初に、矢島恒夫会長が挨拶に立ち、参議院選挙結果に触れながら、「戦争をする国づくり」を進める自公政権の危険性をあらためて強調。結成以来「再び戦争と暗黒政治を許さない」と闘って来た「国賠同盟」の活動の今日的役割を訴えられ、この1年間の埼玉の活動を振り返りながら、2年後に迫った「埼玉県県本部50周年記念」の年に向け、全国の先頭に立

#### 〈国会請願三項目〉

- ①国は、治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
- ②国は、治安維持法犠牲者に謝罪し賠償を行うこと
- ③国は、治安維持法による犠牲の実態を調査し、その内容を公表すること

つて頑張ろうと呼びかけました。

次いで、大野辰男事務局長が理事会報告を行い、先ず、第40回全国大会が強調した、「いまの支配者が、軍備増

強、『戦争する国づくり』を加速させようとしているのは、かつての侵略戦争と民衆への弾圧に対する無反省に思想の根幹があること。そして、いま『治安維持法』が高齢者の昔話でなく、きわめて現実的で差し迫った課題になっていること」などを、自らが大会代議員で学んだ「同盟の存在意義」について熱

を込めて訴えられました。1年間の総括と運動方針については、議案の核心部分に触れながら、理事会で確認した重点課題、改憲許さない闘い、国賠署名の推進、会員拡大と支部づくり、映画「わが青春つぎる」ともの上映運動などについて、報告・提案を行いました。また、会場には、11団体から寄せられたメッセージが掲示されました。休憩後、2021年度決算報告と2022年度予算案の提案を岩田治樹

副会長、監査報告を斎藤健監査委員から報告されました。

その後、報告に対する質疑・討論となり、10名から挙手があり、支部活動の経験、映画上映会の経験、また、「山宣」の紹介など、熱心な報告・討論が行われました。矢島会長から討論のまとめが行われ、提案された議案・会計報告に対する採決を行い、全員の拍手で承認されました。

その後、2022年度県本部役員の方針が発表され、矢島会長の挨拶が行われ、全員の拍手で承認されました。

#### 埼玉での支部づくりをめざす

##### 第1回支部活動学習交流会

日時 9月24日(土) 13時半～16時  
会場 さいたま共済会館602会議室  
支部活動の交流と支部結成に役立つ学習と交流の場です。大勢の参加をお待ちしています。中央本部から援助者も来て全国の支部づくりの経験も話されます。



## 総会で選出された 県役員の方々

50音順、○は新

会長 ○加藤ユリ

副会長(3名)

岩田治樹、小池莊市、

森田君子

事務局長、大野辰男

常任理事(8名)

大澤辰雄、小久保剛

志、佐藤訓子、○林登

美男、○福田美子、福

家駿吉、本山豊、渡辺

喜久男

理事(22名)

浅子薫衣、卯月武彦、

加納幸子、鯨井洪、倉

又孝夫、○黒崎勇、小

室仁彌、権田圭助、佐

藤修一、篠田健一、菅

原明、鈴木実、○田中

昌子、新島善弘、○橋

本静修、○二橋元長、

本山修一、丸山芳枝、

○水戸元次、宮地さか

枝、望月たけし、○柳

澤曉

監事(2名)

斎藤健、○中里清志

顧問(2名)

高根賢一、○矢島恒夫

## 新会長あいさつ

加藤 ユリ

第57回埼玉県本部総会は、活動報告と運動方針を採択し新しい体制でスタートしました。

この一年間、全県の頑張りで最高の会員数と映画「我が青春つる」ともの上映運動などを成功させてきたのは、全県各地の会員の連帯と努力のたまものです。この度、長年にわたって県本部会長として「尽力いただきました矢島恒夫さんが退任されることになりました。感謝申し上げます。ありがとうございました。

矢島さんの後を引き継ぎ、私が会長を引き受けることになりました。微力ながら皆さんと一緒に埼玉県本部の発展のため頑張りたいと思います。よろしく願います。

改めて「治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟」の歴史と存在意義を深く学び、私たちの先輩である「治安維持法」の弾圧による犠牲者の尊い命とたたかいを引き継ぐ組織として、「憲法9条改悪反対」の声を草の根から起こしていきます。



退任された矢島恒夫前会長に感謝の花束を渡す、加藤ユリ新会長

## も一言



## 憲法を活かしアジアに平和を

日中友好協会さいたま支部 支部長

中里 尉一

## 防衛白書・台湾問題

2022年7月22日に発表された日本の防衛白書、アジアの平和にとって重大な視点が発表されています。台湾は元々中国の一部で、1894年の日清戦争で略奪し、1945年ポツダム宣言で中国に返還した領地です。防衛白書は、「中台間の軍事的緊張が高まる可能性も否定できない」、「台湾は我が国と基本的価値は共有する重要なパートナー」と述べ、「台湾情勢の安定は我が国の安全保障、国際社会の安定に取って重要だ」と分析しています。まるで台湾は自国の領土であるかのようにです。

## 反中・嫌中は意図的に創られた

中国への偏見・蔑視感は一八九〇年代に意図的に煽り宣伝されました。徳富蘇峰は「清国と開戦する好機を逃すな、これこそ膨張的日本が膨張的活動をする好機」。福沢諭吉は「日清の闘いは文明と野蛮の戦いだ文明進歩のためにやむを得ない、中国人は文明の『誘導者』である日本人に感謝しろ」。内村鑑三は「日清戦争は『義戦』『正義の戦争だ』。このように国民を誘導していったのです。この意識は今日も続いていると云われています。

## 戦争責任を曖昧にしてきた者たち

1931年満州事変から、1945年の敗戦まで中国や東南アジアで、言葉に尽くせぬ蛮行を繰り返したことを「やっではない」、「植民地解放の戦争」などと日本の侵略戦争を否定し、戦争の責任を認めない自民党政権、同時に不問に付した占領者・アメリカの反共政策は、戦後、素晴らしい日本国憲法がありながらその憲法を生かして来ませんでした。

これは、戦中の治安維持法による弾圧を受けた者(の名誉回復と賠償、中国に棄民された人々たち「中国残留孤児・婦人」(二世・三世含む)への支援と補償、原爆被害者、空襲被害者などへの「戦後補償」問題の取り組みに表れています。

## 憲法を活かしアジアに平和を

日本国憲法は、戦争しない、武器を持たないと規定しています。自公政権はロシアの侵略戦争を機に、軍事費増大を強行しようとしています。軍事で、国民の命・財産を真に守れるのか、結局「軍事」は大切な人命を奪う道具で21世紀の人間が行うことではありません。世界の人達が「対話・話し合い」これを基本に生きて行くことではないかと考えます。



## 秩父事件 墓碑探訪

第12回

### 小森茂作の墓碑

篠田 健一



【交通】西部地秩父駅より元気村行きのバス乗車し終点で下車。徒歩で土坂峠に向かい約30分。

小森茂作の墓碑は秩父市上吉田明ヶ平(みようがだいら)の小森家の近くにある。茂作は有期徒刑一二年の刑に処されて北海道釧路集治監に送られた。下吉田村の高野作太郎も同刑で同集治監に入獄。二人とも知り合いだったから心強かつたに違いない。しかし、作太郎は一年余で獄死したことは、すでに述べた。囚徒たちは硫黄山の採掘や道路開削工事に使役された。

「明治一七年一月三日、茂作は親鼻の渡し警備につく。午後一時頃、大田村の富田広吉宅に一隊が

放火して火炎まさに盛んするとき、茂作たちが現場についた。本家の東南に隣接する土蔵の屋根のあちこちに火が付き燃え上がっていたが、土蔵全体はまだ焼けていなかった。

そこで頭取の者が土蔵に火を移すべしとの命令により、氏名知らざる四、五名と共に、土戸を毀し焼け残りの木片数個を投入し、あるいは入口の戸に立て掛け、ついに全焼。

これが裁判言渡書の核心部分。高利貸の富田広吉宅に火を付けた者、焼け残りの木片を投げ込んだ他の者も放火犯として刑罰を受けた者はいない。刑を受けたのは茂作だけだ。いかにいい加減な裁判だったか。

大田村より茂作は家に戻るが、二月三日に小鹿野警察分署に自首。検事の取り調べを経て裁判。明治一八年二月二十九日、浦和重罪裁判所から冒頭の刑を受けた。

茂作は明治二二年の大日本帝国憲法の大赦で出獄。だが、茂作の服役中苦労した息子との間がうまくいかず、茂作は妻と共に山小屋に隠居して原始生活を送る。妻の死後一人暮らしとなり、昭和七年に山から下るされ、息子の家で八一歳の生涯を閉じた。

## 平和のための埼玉の戦争展

矢島恒夫会長も呼びかけ人の一人となつて、毎年開催されている「埼玉の戦争展」、今年もコロナの中でしたが、様々の企画を準備して成功裡に終了しました。

8月4日は、埼玉会館小ホールで、オープニングコンサート、ピースボートの畠山澄子さんの講演、映画「ひろしま」の上映が行われ、3日、5日、7日は、オンライン配信で各界著名人によるピーストーク、戦争体験DVD上映、朗読・紙芝居などが行われました。国賠同盟からは、「戦争と暗黒政治は車の両輪」と書かれたパネル(左の写真)が紹介されました。



## 同盟文芸



### 短歌

猛暑の中命の限りセミよ鳴け  
われも声あぐ軍拡やめよと

あの人もコロナ感染と聞きたれば  
いのち軽視の政府にいら立つ

川口市 宮地 さか枝

### 俳句

炎熱や鳥は口を空けしまま

漆黒の羽根と銀の尾羽黒とんぼ

春日部市 浅子 薫衣

草の根や抑止論越す長崎忌

岸児玉笹川の名黒し敗戦忌

さいたま市 小池 莊市

夕涼みバシバシア音に目を向ける

行田市 大野 辰男

### 川柳

カルトにはずぶずぶコロナは見放す  
廃絶へ核禁条約道づくり

春日部市 福家 駿吉



## “終戦記念日” 宣伝行動



「父は職業軍人だった。戦争は良くない」と加納理事に話す男性

埼玉県本部は、8・15終戦記念日駅頭宣伝を浦和駅東口で10時から4人の参加で一時間行いました。猛暑のなか、大野事務局長がハン ドマイクで、「今年の77回目の終戦記念日は、明治維新から終戦までの77年と、戦後の77年目と丁度同じ節目の年で、日本の歴史を振り返り、歴史を学んで、今日の一日を、『家族で、友人と恋人同士で平和や戦争について語り合う日』として、配布しているチラシを話し合いの材料にして欲しい」と訴えました。また、映画「わが青春つきるとも」の埼玉県の草の根の上映運動への協力なども熱く呼びかけました。訴えを聴き、「今の自民党の政治は危ない!是非、野党に頑張つて欲しい」、「戦争は絶対やめてはいけない!」などの声を掛けてくる方が目立ちました。中には署名は先日やったのでと千円のカンパを寄せてくれる方もいて、100枚用意したチラシは全部配布を完了することができました。

映画「わが青春つきるとも」第二次「上映運動」順調に滑り出す。現在13ヶ所三千七百名に、目標の「30ヶ所五千」に向け御協力ください

参院選挙後取り組んでいる、「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯「第二次「上映運動」も順調に進み、目標を大きく上回った越谷上映会(366人)に次いで、熊谷368人、蕨130人、狭山347人、埼玉高教17人、岩槻27人と、大きな成功をおさめてきています。8月末現在、埼玉県内で行われた「上映会」は、深谷シネマ上映を含め13カ所所で取り組まれ、入場者は3686名となりました。

熊谷上映会では熊谷空襲を忘れない!市民の会など各団体、個人が熊谷らしさを発揮して、タウン誌や熊谷市報、夕刊金曜日などで広い市民へ知らせ、市と教育委員会の後援も頂いて取り組んだ結果、立憲民主



監督を囲んで(熊谷市)

## 映画「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯

埼玉上映案内 (日程、会場、上映時間) (8月31日現在)

- 9月10日(土)、富士見市立鶴瀬コミュニティセンター、10時半、14時、18時
- 9月24日(土)、上尾市コミュニティセンター、10時、14時半、18時
- 10月2日(日)、戸田市新曽福祉センター大ホール、10時、14時、
- 10月2日(日)、三郷市文化会館小ホール、9時35分、18時40分
- 11月10日(木)、秩父宮記念市民会館・けやきフォーラム、18時半
- 11月30日(日)、春日部市民文化会館小ホール、14時。

「製作募金」協力者にお渡しした「製作協力券」をお持ちの方は、この会場でご覧できます

## 新加入同盟員紹介 4名

中村 清美  
中里 尉一  
澤野 秀子  
小菅 一美

岩槻区  
北区  
川口市  
中央区

## 国会請願署名推進コーナー

### 【個人署名】 (245筆)

倉又孝夫 (国分寺市) 30筆  
藤田悦子 (ふじみ野市) 10筆  
小倉啓介 (東松山市) 10筆  
新日本婦人の会県本部 127筆  
終戦記念日宣伝 2筆、募金千円  
熊谷市上映実行委員会 26筆  
同盟 岩槻市支部 40筆

### 【団体署名】 (2団体)

新日本婦人の会 松伏支部  
同 朝霞支部

署名合計 (8月末現在)

個人署名 472筆  
団体署名 6筆

## 夏期募金ありがとうございました

秋山文和、浅見常好、新祖章、戸谷和男、林登美男・清子、福家駿吉、細谷宜朗、寺島萬里子、佐藤修一、吉田武治、春原利夫・節子、永島民男、柴山たか子、金子幸弘、

敬称略(8月末現在)

註: 紙面の都合で「熱風」は休ませて頂きます。(編集部)